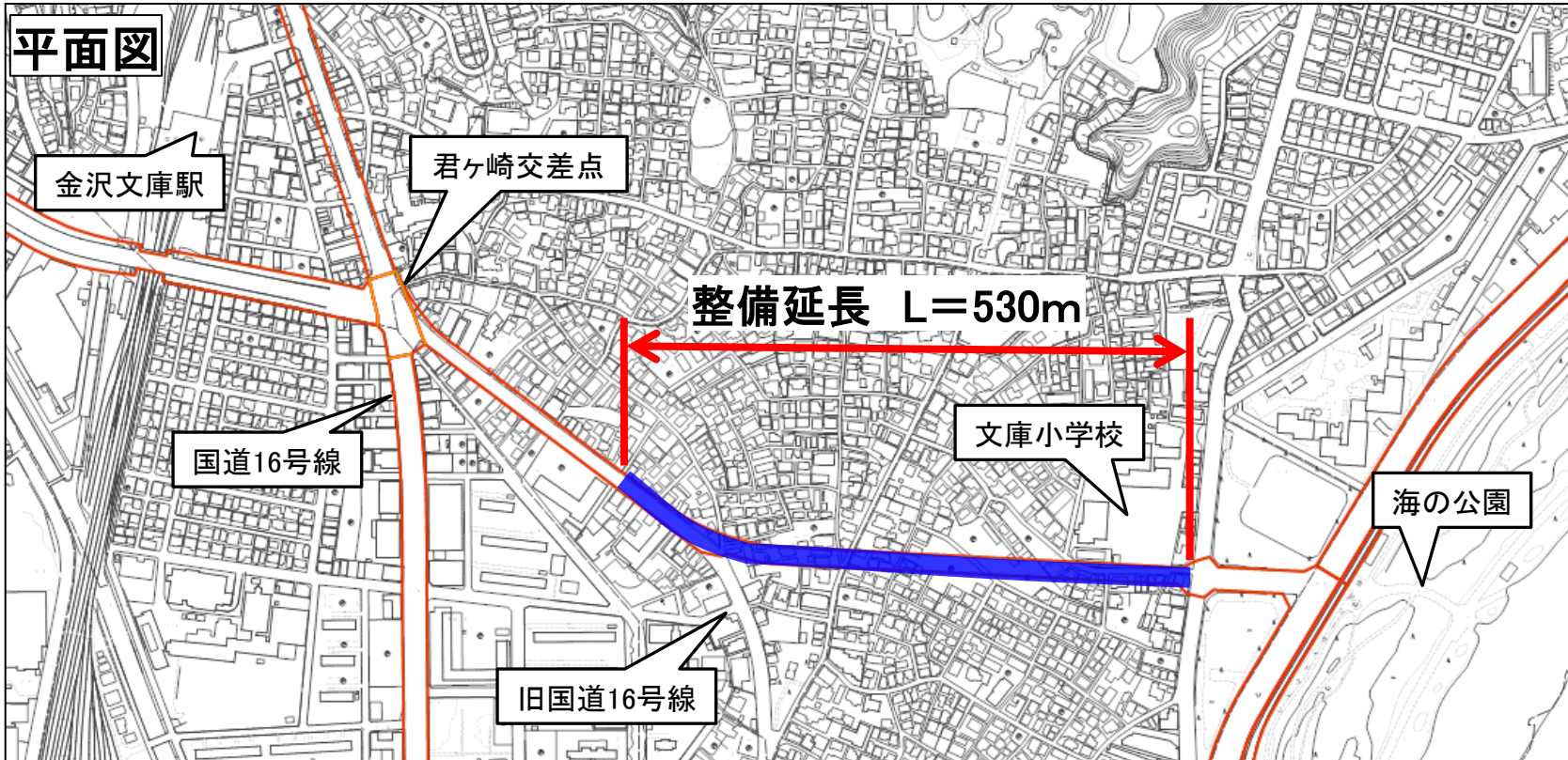


道路－3  
泥亀釜利谷線（寺前地区）  
街路整備事業

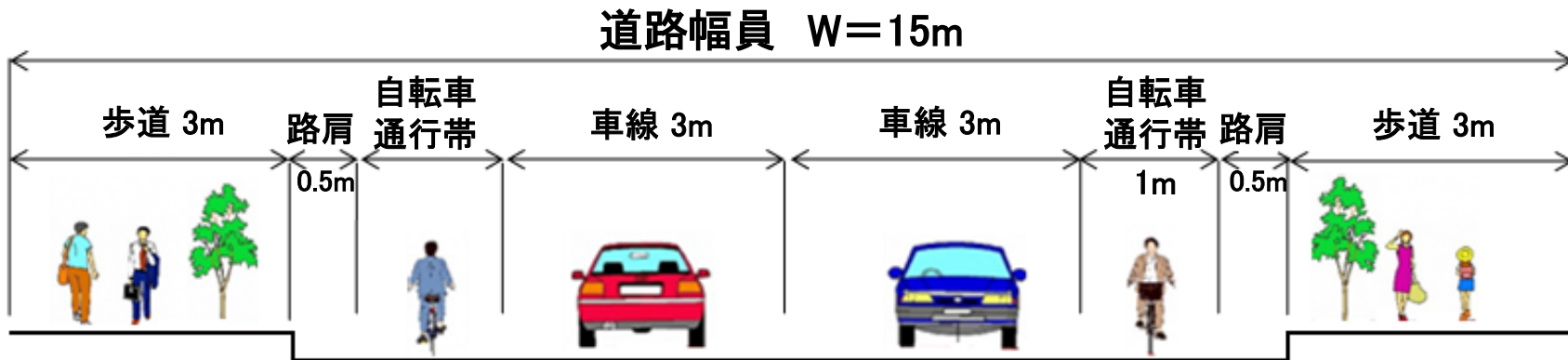
# 事業概要



# 事業概要

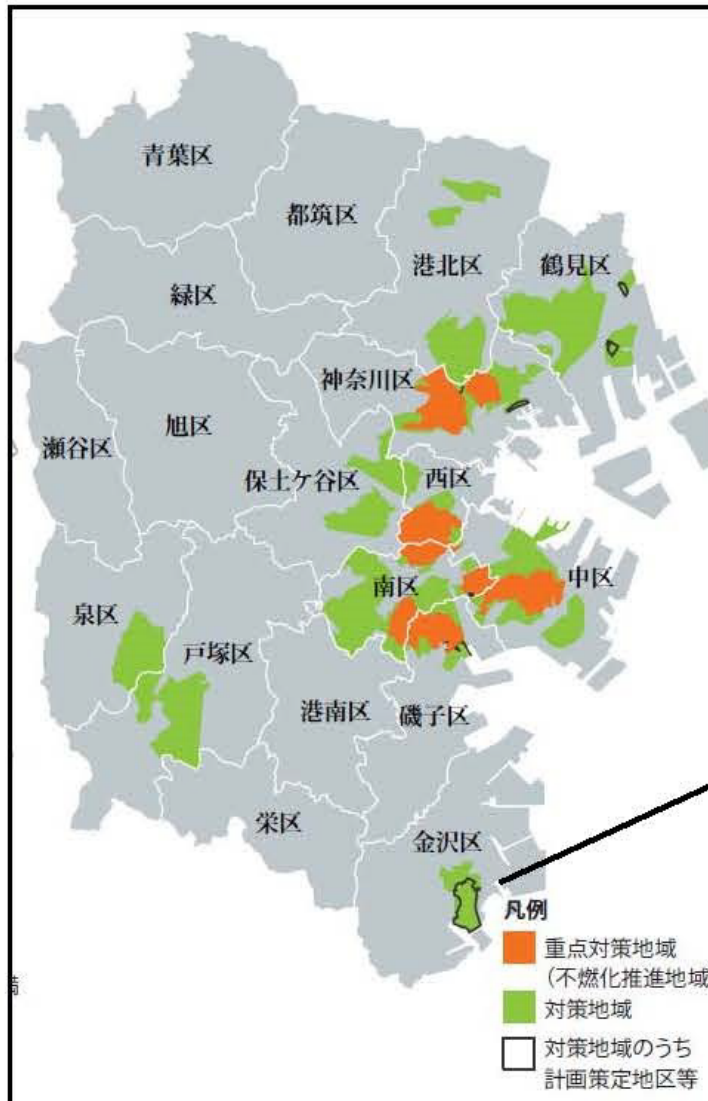


## 標準横断図



## 整備効果

- ① 金沢区臨海部と国道16号や京浜急行金沢文庫駅へのアクセスが向上します。
- ② 生活道路への流入交通の減少や歩道を設置することにより、交通安全性が確保されます。
- ③ 延焼遮断帯を形成することで、大規模地震時における延焼被害の軽減を図ります。



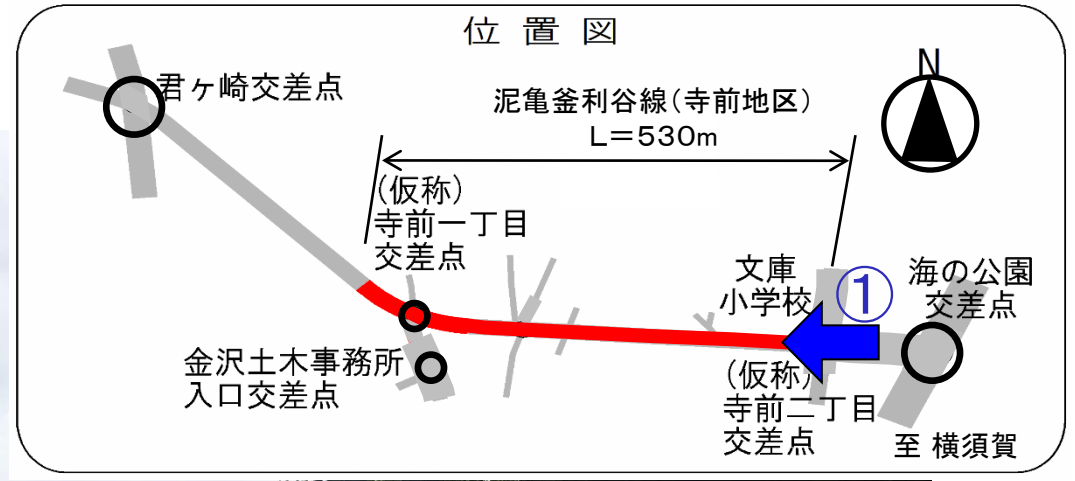
### 対象地域における主な地震火災対策

- ・ 感電ブレーカー設置等による通電火災対策※
- ・ 老朽建物の解体、建替え※
- ・ **延焼遮断帯の形成【地震火災対策重点路線】**

※ 市による費用助成あり

「横浜市地震火災対策（リーフレット）」より抜粋

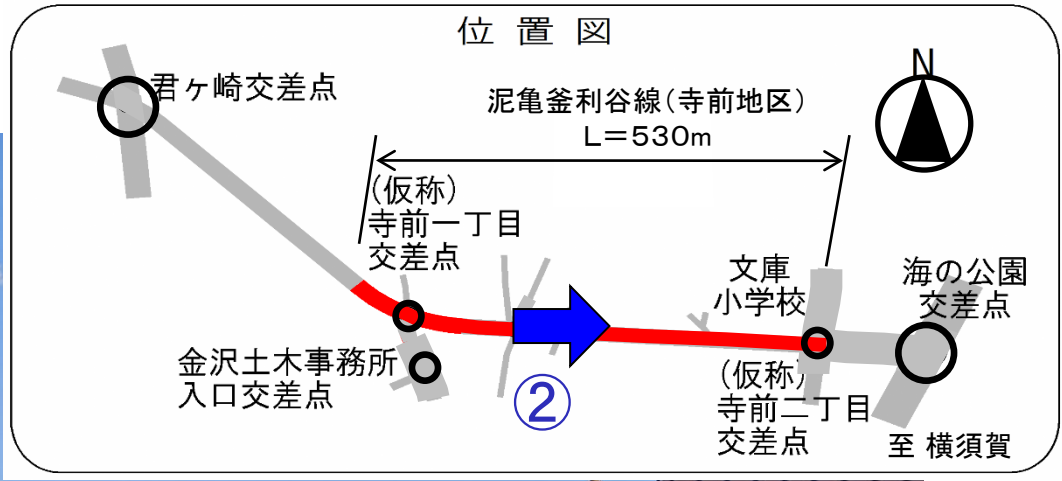
# 現地写真 ①



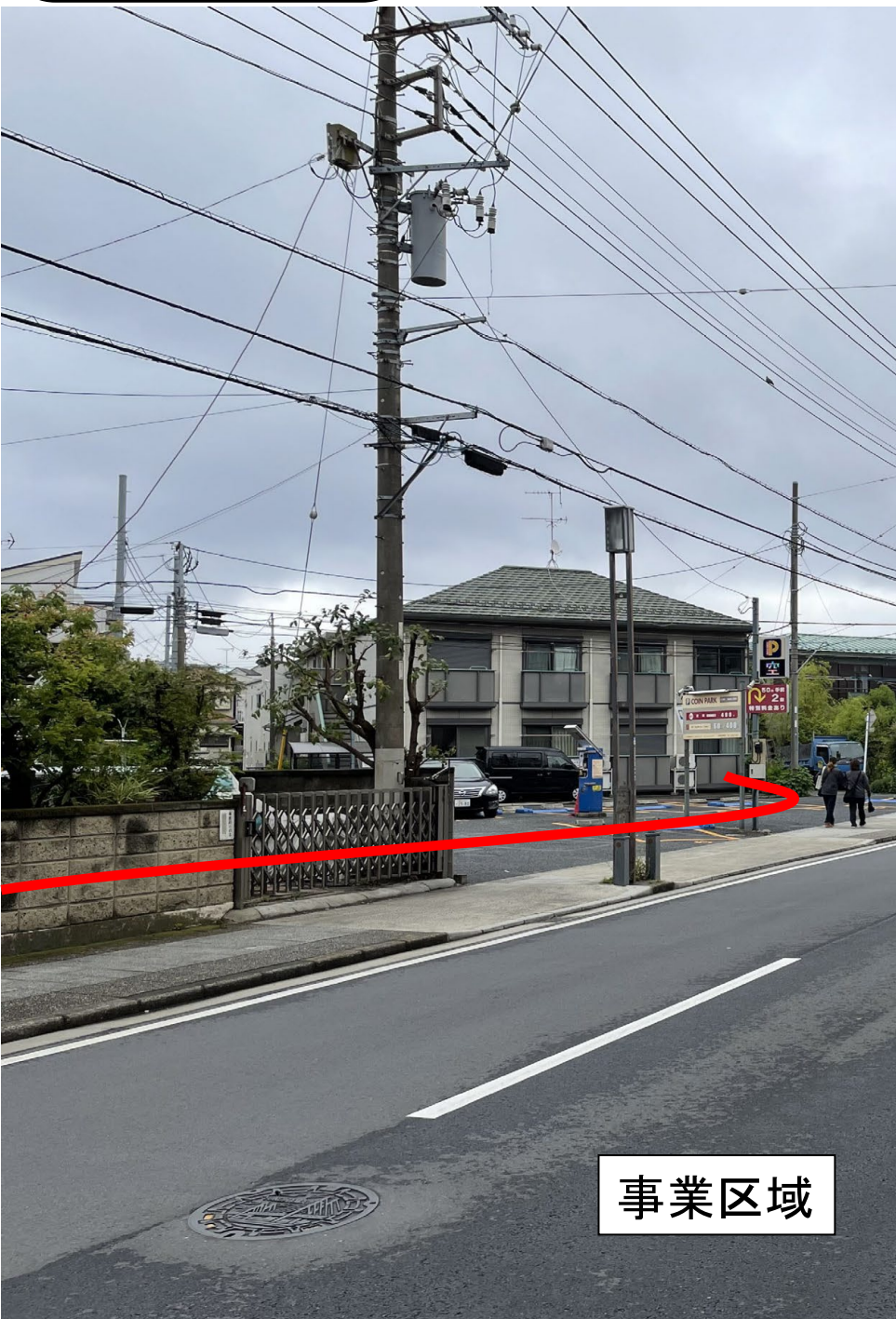
# 現地写真 ②



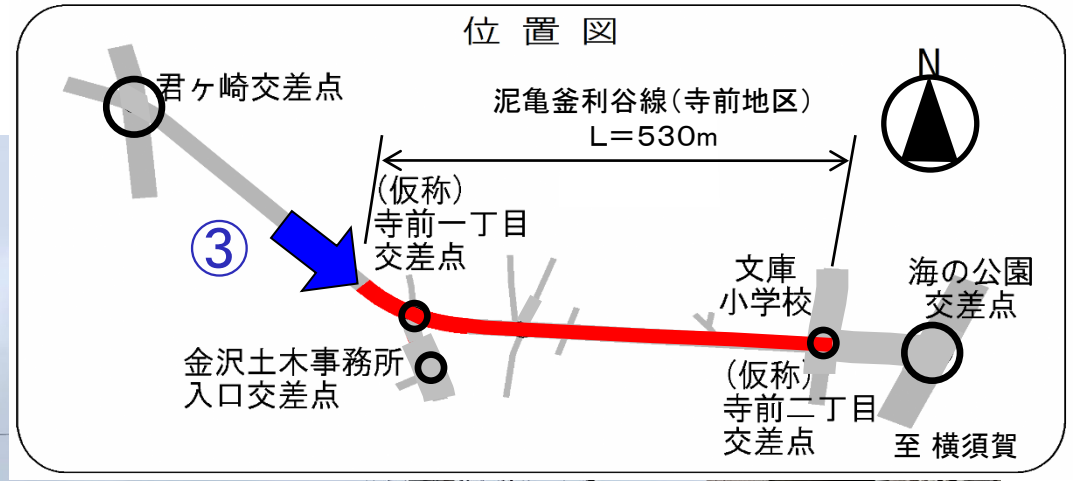
事業区域



# 現地写真 ③



事業区域



## 事業費及び事業期間

		当初 (事前評価時)	変更 (事業採択時)	変更(予定) (令和5年度)
事業期間		平成30年度～ 令和4年度	平成30年度～ 令和6年度	平成30年度～ 令和11年度
事業費	合計	4,600百万円	3,980百万円	3,980百万円
	国費	2,300百万円	1,990百万円	1,990百万円
	市費	2,300百万円	1,990百万円	1,990百万円

## 事業の投資効果

	事業全体
割引率	4%
総便益(B)	266億円
総費用(C)	41億円
費用便益比(B/C)	6.5
感度分析[交通量-10%]	6.4



## 事業の進捗状況

事業進捗率%	令和4年度末までの用地取得進捗率は60%、事業進捗率は55%となっています。令和5年度は引き続き用地取得と関係機関協議を進めます。
55%	
用地取得率%	
60%	
供用等の状況	
—	

## 事業の課題及び進捗見込み

関係機関協議等に時間を要していますが、現在の用地取得率は60%に達しており、引き続き用地取得を進めるとともに、用地取得済範囲において、施工可能な箇所の記事に、順次、着手することで、令和11年度の完成を目指します。

## コスト縮減

建設発生土の工事間流用を行い、運搬費及び残土処理費のコスト縮減を行うとともに、舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト縮減に努めます。

## 対応方針案

本路線は、金沢区臨海部と緊急輸送路である国道16号や京浜急行金沢文庫駅を接続し、本市道路網の形成に果たす役割は大きく、早期に事業完了を図る必要があります。

更に、「横浜市地震戦略における地震火災対策方針」において、地震火災対策重点路線に位置付けており、延焼遮断帯の早期形成の観点等から本路線の重要性が高まっていることに加え、用地取得率も既に60%に達していることから、事業を継続する必要があると判断します。